

令和 6年 6月 13日

広域振興局長

提出者 株式会社ミクニ 盛岡事業所

住所 〒020-0698 岩手滝沢市外山309

氏名 盛岡事業所長 野田 純孝

(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	盛岡事業所	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県滝沢市外山309	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	2,673 kl	*施設番号	
自動車の使用台数	- 台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
滝沢工場	〒020-0698 岩手県滝沢市外山309	1,886 kℓ
大釜工場	〒020-0756 岩手県滝沢市大釜隆盛58-1	787 kℓ
-	-	- kℓ

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）表を作成の上、添付してください。（A4）



別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類		(2023) 年度						E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)	前年度比二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)		
		エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量								
		取値 A	単位 B	熱量(GJ) C	取値 D	単位 E	熱量(GJ) F						
化石燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL			kL							
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL							
	揮発油(ガソリン)		kL			kL							
	ナフサ		kL			kL							
	ジェット燃料		kL			kL							
	灯油	71.44	kL	2,608		kL	2,608	179		179			
	軽油	0.61	kL	23		kL	23	2		2			
	A重油	227.27	kL	8,841		kL	8,841	626		626			
	B・C重油		kL			kL							
	石油アスファルト		t			t							
	石油コークス		t			t							
	石油ガス	18.00	t	902		t	902	54		54			
	石炭	石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³						
		液化天然ガス(LNG)		t			t						
		その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³						
		原料炭	輸入原料炭		t			t					
			コークス用原料炭		t			t					
			吹込用原料炭		t			t					
			一般炭		t			t					
			輸入一般炭		t			t					
		輸入無煙炭		t			t						
		石炭コークス		t			t						
	コールタール		t			t							
コークス炉ガス		千m ³			千m ³								
高炉ガス		千m ³			千m ³								
発電用高炉ガス		千m ³			千m ³								
転炉ガス		千m ³			千m ³								
都市ガス		千m ³			千m ³								
その他の燃料 ()													
非化石燃料	風力		t			t							
	木材		t			t							
	木質燃料		t			t							
	バイオエタノール		kL			kL							
	バイオディーゼル		kL			kL							
	バイオガス		千m ³			千m ³							
	その他バイオマス		t			t							
	RDF		t			GJ/t							
	RPF		t			GJ/t							
	廃タイヤ		t			GJ/t							
	廃プラスチック(一般廃棄物)		t			GJ/t							
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t			GJ/t							
	廃油		kL			GJ/kL							
	廃棄物ガス		千m ³			千m ³							
	混合廃材		t			t							
	水素		t			t							
	アンモニア		t			t							
	その他燃料 ()												
	小 計 ①							12,373	860		860		
	熱	産業用蒸気		GJ			GJ						
		産業用以外の蒸気		GJ			GJ						
		粗水		GJ			GJ						
		冷水		GJ			GJ						
地熱			GJ			GJ							
温泉熱			GJ			GJ							
太陽熱			GJ			GJ							
雪氷熱			GJ			GJ							
小 計 ②													
電気		電気事業者①	9,945.41	千kWh	85,928		千kWh	85,928	4,744		4,744		
	電気事業者② ※複数契約している場合使用	615.57	千kWh	5,319		千kWh	5,319						
	自己発電(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh							
	自家発電	太陽光		千kWh			千kWh						
		水力		千kWh			千kWh						
		風力		千kWh			千kWh						
		その他		千kWh			千kWh						
小 計 ③							91,247	4,744		4,744			
合 計 ④=①+②+③							103,620	5,604		5,604			

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	2,673	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	5,604 t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素	t-CO ₂
メタンの排出量		t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量		t-CO ₂
六フッ化硫黄の排出量		t-CO ₂
三フッ化窒素の排出量		t-CO ₂
合 計		5,604 t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

- ・CO2排出量2023年度目標値ほぼ達成
- ・省エネ、再エネの施策積み上げにより来年度以降目標達成の見込み

【具体的な取組状況】

○人材育成

- ・エコスタッフ養成セミナー参加1名
- ・社内教育:環境MS(ISO14001)内部監査員新たに8名自社で養成。今年度内部監査に参加
- ・CDPセミナー参加全7名(盛岡事業所1名)
- ・JAPIA(日本自動車部品工業会)関連セミナー受講全7名(盛岡事業所1名)
- ・SCOPE1,2,3自主算定実施、算定方法の社内教育実施

○意識啓発

- ・月例開催省エネ委員会でエネルギー使用量確認と省エネ施策検討、進捗
- ・従業員意識付けの為、エネルギー使用量グラフ化社内掲示
- ・自社環境方針記載カード全従業員へ配布、環境MS内部監査にて認識されているかを評価(インタビュー実施)
- ・社内電力使用データの見える化 → エネルギー使用のリアル監視+モニター掲示

○省エネ・再エネ設備推進

- ・照明LED化実施、照明間引き
- ・再エネ電気購入、(太陽光パネルは設置に向け業者と検討中)
- ・施設、設備駆動源(モータ)インバーター制御化
- ・生産設備を省エネタイプへ順次更新

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

- ・在宅勤務実施、WEB会議利用促進
- ・産業廃棄物扱いと分別のルール社内教育
- ・モーダルシフトの実施(鉄道貨物の利用)
- ・事業所内電量消費量データを用いて施設、設備非稼働時の待機電力削減活動実施

別紙 その3（自動車用）
1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量（2023年度）

自動車			二酸化炭素の排出		燃料使用 量対前年 度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	10 (2)	4,730 ℓ	2.29 kg-CO ₂ /ℓ	10,832 kg-CO ₂	
軽油	3 ()	4,050 ℓ	2.62 kg-CO ₂ /ℓ	10,609 kg-CO ₂	
LPG	()	0 kg	2.99 kg-CO ₂ /kg	0 kg-CO ₂	
電気	?	kWh	0.477 kg-CO ₂ /kWh	kg-CO ₂	
その他	()		kg-CO ₂ /()	kg-CO ₂	
合計	13 (2)			21,441 kg-CO ₂	

備考1 保有台数欄の（ ）には、ハイブリッド車の台数（内数）を記載してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令（平成11年
政令第143号）の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

・自動車関係のみでの目標設定なし

【具体的な取組状況】

主に下記取り組みの維持、及び必要な教育や啓蒙活動を実施

○エコドライブ

- ・自社の交通安全規定にエコドライブ条項記載
- ・駐車場内、アイドリングストップ等の看板掲示

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項